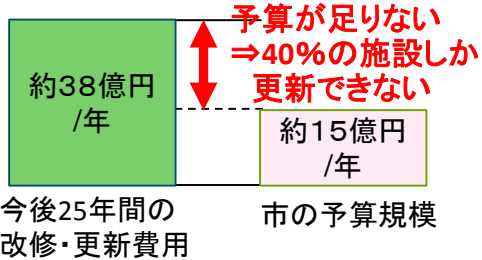


# PPP/PFI地域プラットフォームの取組について②

## 地域プラットフォーム形成支援事業(習志野市の例)

### ■ 地域プラットフォームを導入した背景・目的



市財政が厳しい中、老朽化した施設の更新に対応するためPPP/PFIの取り組みが急務

地域企業: PPP/PFIに関する知識・ノウハウの蓄積  
市職員: PPP/PFIに取り組む庁内体制の整備

### ■ 地域プラットフォームの実施内容と導入成果

○ 2015年度はセミナーを3回開催。地域企業・地域金融機関等から毎回30名程度が参加。

回	第1回	第2回	第3回
目標	意識の醸成、基礎知識の習得	ノウハウの習得	異業種ネットワーク形成、官民対話
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の公共施設の維持更新費用に関する課題の説明</li> <li>地元事業者参画事例の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI実施方針の読み方、資金調達方法についての勉強会</li> <li>ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手ゼネコンから地域事業者との連携方策について説明、質疑</li> <li>市から具体的なPFI事業計画の情報提供</li> </ul>



実施方針、資金調達に関して専門家が講師となって説明  
⇒ 実務面の理解度が向上



意見交換を実施  
⇒ 地元企業参画の課題を明確化

#### 【アンケート結果】(地元企業13社)

- ・ PPP/PFIの理解度が向上 85%
- ・ PPP/PFIの参画イメージができた 62%
- ・ 今後も参加したい 54%

来年度以降は、要求水準書の見方、提案書の書き方、コンソーシアムの組成方法、リスク分担を教えてください、過去の事例を取り上げてほしいとの意見もあった。

#### <成果>

- 市が予算を確保し、2年目以降も継続実施
- 2016年度に市内初のPFI事業実施  
(大久保地区公共施設再生事業)

<ワークショップでの発表>

# PPP/PFI地域プラットフォームの取組について③

## 地域プラットフォーム形成支援事業の結果（総括）

### ■ 地域企業が抱えている具体的な不安が明確に

「大手ゼネコンに仕事を取られてしまうのでは」  
「PPP/PFIを進めたくても自ら何をしてよいかわからない」  
「そもそもPPP/PFIが全くわからない」

### ■ どの地域でも参加者の意識が変化

＜アンケート結果＞

- 今後もプラットフォームに参加したい（神戸市:91%）
- PPP/PFIが身近に感じるようになった（岡山市:83%）
- PPP/PFIに参加したい（習志野市:54%）

- 活動が進むにつれ、PPP/PFIや大手事業者等に対する印象も好転
- 次の展開として、個別の官民対話手法（サウンディング）や民間提案を求める声も

### ■ 成果

- 具体的なPPP/PFI案件を産み出す見通し
- 内閣府支援終了後も各地域で地域プラットフォームの取組が継続